

## 「令和 2 年度三重県経営方針」の策定について(補足説明)

令和 2 年 4 月 1 日  
戦略企画部企画課

最終案（令和 2 年 2 月 17 日時点）からの主な変更点は、以下のとおりです。

### (1) 構成の変更

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響の緊急性や重要度を考慮し、「Ⅰ 注力する取組」の前に、新たな章として「Ⅰ 新型コロナウイルス感染症への緊急対策」を追加。

### (2) 文案の変更

「新型コロナウイルス感染症の世界的な広がり」と「東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催時期の変更」という新たな社会情勢の変化や時点修正等に対応。

### ■はじめに ～令和 2 年度の三重県経営にあたって～

#### ○前文

- ・「感染拡大が予断を許さない状況にあり、この難局をオール三重で乗り越える必要があること」を追記

#### ○令和 2 年度を巡る状況

- ・「非常事態への危機管理対応が正念場であること」を追記
- ・「東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催時期の変更」を追記

#### ○令和 2 年度の取組

- ・「新型コロナウイルス感染症への緊急対策を講じること」を追記

### ■ 1 新型コロナウイルス感染症への緊急対策

○刻々と変化する状況を踏まえ、3月19日全員協議会での知事説明を基に、直近の対策も追加した上で、令和 2 年度の取組を中心に整理。

※令和元年度内（3月17日）に実施した国への緊急要望について、点線枠囲みで記載。

○緊急対策について、「検査・相談・医療提供体制の充実」、「学校等の人が集まる場所における感染拡大防止対策とそれに伴う影響を緩和するための対応」、「情報提供等」、「県内経済への影響を回避・軽減するための対応」の4つの柱で整理。

○このうち、「県内経済への影響を回避・軽減するための対応」について、「事業活動への支援」、「生活者支援」、「制度の弾力的運用」の3つの柱で整理。

## ■ 2 注力する取組

### (3) 「未来への希望」「挑戦」を大切にす三重

#### ・ 23P 枠囲み

新型コロナウイルス感染症の県内経済への影響と、この難局を乗り越え、事態の終息の兆しを見せる時期に、再度事業を成長の軌道に乗せていくための対策を講じることについて、記述を追記

#### ・ 29P 観光振興・三重の魅力発信（1、5ポツ目）

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの記述を修正

#### ・ 29P 持続可能なもうかる農林水産業（1ポツ目）

「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画」の議案修正に基づき、「兼業農家、高齢農家等」を「家族農業等多様な担い手」に記述を修正

#### ・ 31P 交通・インフラ整備（6ポツ目）

「新たに4車線化に着手する候補箇所として選定された紀勢自動車道大宮大台IC－紀勢大内山IC」の記述を追記

### (4) 「三重とわか国体」「三重とわか大会」を成功させる三重

#### ・ 33P 枠囲み

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催時期の変更に伴い、一連のものとして三重とわか国体・とわか大会につなげていく絶好の機会となること、ピンチをチャンスに変えて、三重とわか国体・三重とわか大会に向けてオール三重で準備を進めることを追記

#### ・ 33P 1～3ポツ目

「完全な形」でのオリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルに取り組むこと、事前キャンプが延期後も実施されるよう各チームに働きかけること、一連の開催をチャンスと捉え、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの熱気を両大会への期待感につなげることを追記